

「おもてなし」を届ける移動動物園

飼育展示担当 中井 朱

ふるさと秋田の活性化と、大森山動物園のイベントPR、そして、動物たちの魅力を多くのかたに伝えることを目的に、今年も「移動動物園」を開催しています。

まずは4月12日(土)「春の便」、地域のプロバスケットボールチーム「秋田ノーザンハピネッツ」の依頼を受け、公式戦試合前に、秋田県立体育館前の広場で開催しました。事前にハピネッツや動物園のホームページでPRしていたこともあり、観戦ではなく「動物たちへ会うため」体育館前広場に来場されたお客さまも見受けられました。当日、少し肌寒い気候でしたが、時折、顔を見せる太陽の応援もあり、573名のお客さまに、動物たちやオモリンとの楽しいふれあいをお届けできたようです。

続いて6月29日(日)「夏の便」、エリアなかいち・にぎわい広場へのお届け。開催場所が狭く、参加した動物は一種類でしたが、動物園の人気ランキング上位でもある



動物たちもハピネッツを応援



ペンギンと記念撮影
(国文祭100日前イベント)

フンボルトペンギンの効果は大きく、行列ができるほど盛況で、224名のお客さまは、ペンギンとの記念撮影に満足げな様子でした。また、開始直前まで降っていた雨も止み、動物園のイメージキャラクター「オモリン」も登場! 第29回国民文化祭・あきた2014秋田市100日前イベントの盛り上げに貢献し、併せて、動物園ビジターセンターのオープンもPRできました。

現在のスタイルで3年目を迎える移動動物園ですが、お届けすると思われる「冬の便」に備え、より効果的な方法を模索したいと考えています。

イベント

レポート

親子のふれあい写生大会 7月26日、27日



「えさをたべらるる」

仁井田幼稚園 内出絢華さん(3歳)



「ぼくを見つめているよ」

寺内小学校4年 斎藤空知さん



「ギロリッ! ワシミズク!」

御所野小学校2年 畠山大羅さん

7月26日(土)、27日(日)の2日間、第37回親子のふれあい写生大会を開催しました。初日は最高気温34℃の真夏日で、翌日は時折雨が降るあいにくの天気になりました。それでも個性あふれる力作が466点も提出され、秋田市造形教育研究会による審査のもと、入賞作品107点を決定しました。

8月24日(日)には、ビジターセンター大屋根広場で表彰式が催され、入賞者に賞状の授与と副賞の贈呈が行われました。

サマースクール 8月1日、2日

動物園で一番歴史のあるイベント、サマースクールを8月1日(金)、2日(土)に開催しました。今回で40回目となる今年のテーマは、「われら生き物調査隊! 動物園の仕事を探れ!!」。2日間で合計32組74名のかたが参加され、動物の世話を通じて生命の尊さや動物の生態などを学びました。

午前には複数のグループに分かれて、動物の部屋の掃除や餌作り・給餌など、普段は体験できない飼育作業に汗を流しました。また、午後からは2つのグループに分か

れ、園内の塩曳淵に生息する外来種「アメリカザリガニ」を釣ったり、動物園が栽培している飼料作物「スタックス」の刈り取り作業を行いました。

両日ともに厳しい暑さの中での体験となりましたが、この体験が動物への思いやりの気持ちが育まれると同時に、夏休みの楽しい思い出として残ってほしいです。



どうぶつサイエンス 5月22日

動物の不思議について学ぶ自然科学学習館との共同イベント。今回のテーマは～アルヴェとミルヴェの「命」のコラボレーション「骨のひみつをさぐろう」～でした。

午前中は自然科学学習館でワークショップを行い、午後から動物園にて動物を間近で観察し、実際にいろいろな動物の骨を触ってもらい骨の仕組みについて学びました。参加者は27名で、ペンギンやカピバラの歩き方をまねしてみたり、フラミンゴやコウノトリの足の曲がり方を熱心に観察するなど、子どもたちは楽しそうにしました。また、キリンの首の骨を順番に並べてみたり、チン



ペンギンのからだの秘密を学ぶ



人とキリンの骨を比べてみよう

パンジーの頭の骨と人体模型の頭の骨を比べてみたりしました。ペリカンの太ももの骨を持って飛ぶために進化した骨の軽さを実感すると、子どもたちだけでなく親たちも熱心に話に聴き入っているのが印象的でした。

春の動物ふれあいフェスティバル 6月8日

大森山動物園人気イベントの春の動物ふれあいフェスティバル。当日は天候にも恵まれ、たくさんの来園者が訪れました。

大好評のどうぶつパレードには、ミニチュアホースやフンボルトペンギンなど9種類の動物に加えて、動物園イメージキャラクター「オモリン」や大森山ゆうえんちの「エクル隊長」、「スグッチ」、「ニヤジロウ」も参加。さらに、子育て支援団体「チェリッシュ」の呼びかけで集まった親子46組が動物に仮装しながら行進し、パレードを盛り上げてくれました。



オモリンや動物の仮装をした子どももパレードに参加



ペンギンたちの行進

このほか、動物園裏側探検や「ミルヴェンジャー7」のヒントタイムが人気のウォーククイズ、獣医さんになりきる吹き矢体験などこの日ならではのイベントや、人気のまんまタイム、エサやり体験、なかよしタイムなどたくさんのイベントを行いました。

夜の動物園 8月14~17日

夏の大人気イベント「夜の動物園」を今年も開催しました。今年で22回を数える通称「ナイトズー」は、昼間とはひと味違う、夜の動物たちとの対話を楽しむ夏の夜のお楽しみとして市民の皆さまに定着したようです。

15日(金)には大森山動物園のヒーロー「ミルヴェンジャー7」のショー、16日(土)には大森山動物園応援会が主催するミニコンサートが開かれ、動物園が一層華やかになりました。初めての夏を迎えるビジターセンターの大屋根広場で開かれたミニコンサートには、スチールパンバンドの「ばんだらけ」の皆さんや、秋田を拠点に全国に向けて活動しているギタリスト・小野リカルド輪太郎さん、フルート奏者・石川真由子さんが登場。夏の夜にぴったりの、透明感のあるのびやかな音色が大森山に響き渡り、会場を優しく包み込みました。また、似顔絵師とらまるさんが、墨を使って次々にお客さまの似顔絵を描き出し、会場

は大賑わいとなりました。

16日には、チンパンジー「のり子」の36歳の誕生会も催され、飼育員ら鉄人シェフが腕を振るったごちそうに舌鼓を打つ姿に、展示場を取り囲むお客さまも大喜び。期間中、ラインナップが充実したどうぶつ解説やまんまタイムを巡っているうちに、あっという間に時間が過ぎてしまったように感じたかたも多かったのでは?

初日は天候に恵まれたこともあって、開園時間を延長するほどの大盛況。2日間雨が降ったものの、4日を通じて1万1,000人を超えるお客さまにご来園いただきました。



ミルヴェンジャー7のショー



美しい調べが夜の動物園を彩る



ごちそうを頬張る「のり子」

今後のイベント

11月22日(土) いい夫婦の日イベント
11月22日の「いい夫婦の日」にちなみ、ご夫婦だけで動物園をお楽しみいただく特別なイベントです。(イベントへの参加には事前応募が必要です。)

11月30日(日) さよなら感謝祭
通常開園最終日に、動物の慰霊とお客さまへの感謝の気持ちを込めて「さよなら感謝祭」を開催します。当日は、大人520円で入園できます。(他の割引との併用はできません。)

雪の動物園
2015年1月4日(日)から2月28日(土)
幻想的な銀世界と、その中で過ごす動物たちの表情をぜひご覧ください。